

東京鰐陵

発行・東京鰐陵会
発行所・東京都目黒区中目黒5-2-9
自費工場協会会員
FAX(03)3476-0556
編集・東京鰐陵会編集委員会

思うこと

東京鰐陵会会長

高橋

良(15回生)



ご挨拶

吉城県立石巻高等学校校長

若松武徳



東京鰐陵会員の皆様が故郷を離れ、関東甲信越の地の各分野で、御健勝で御活躍の事は御同慶の至りでございます。

私は田舎石巻中学校、石巻高等學校時代に鰐陵の地で青春の日々を過ごしました。この絆が鰐陵会であり、故郷を離れている東京鰐陵会員の親睦を深める為に発行している会報が「東京鰐陵」です。会報は発行以来大変に好評で、理事長、事務局の皆様の並々ならぬ努力のお陰で六号を御手元に御届けする事になりました。

しかし、前回の理事会に事務局から「東京鰐陵」を継続するか、有料にするか、会費制にするか、雑誌、休刊、休刊にかかる諸問題がありその審議が中心でした。理由は財源の問題でした。発刊の時から「東京鰐陵」は無料配布とし、その資金は会員の企業広告、同窓広告、個人広告と会員の寄付で賄うことでありました。発行までは編集委員会、広告委員会を随時開催し紙面内容を決定し、財務の見直しをして印刷に回します。印刷費が前渡金として必要です。2号までは前渡金に当たる金が書類としてありました。3号、4号、5号と発行してい



る間に会員が増加し印刷部数が増えたこと、配布する郵送料の増加と、経済の悪化に伴い企業広告費が減少した事等にあります。

理事会の長時間の審議の結果、(1)会員に対する連続要望が強いので号を発行する。(2)会員の趣旨から言っても、有料、会費制にはすべきではない。仮に有料、会費制にしても回収が困難である。現行通り会員の企業広告、個人広告、回期広告、会員有志の寄付で発行する。

以上のようすを審議しの上、会員各位の絶大なる御協力を願い致します。

会報に気楽に御投稿し、お互いの動向を融かめ合いながら親睦の和を広げる為に、会報を有効に御活用いただきたいと思います。

最後に会員諸君の益々の御活躍と御發展を祈念申し上げます。

私はこの度、總積・岳前校長先生の後任として母校にお世話を希望いたします。今後は生徒達に情説の若松です。河南町広瀬出身者のです。七十年の輝かしい伝統と実績を更に充実发展させ、後生に引き継ぐべく、努力をし新機種を開拓していく所存です。

次に在校生の活躍の状況ですが、運動部は春の総合体育大会において、ウエイト・リフティングとボートの種目において優勝を重ねました。一方、母校の坊沢教頭によるとボートの種目において優勝を重ねました。お預かりいたしました後輩たちの教育に全力を尽くす所存でありますので、よろしくご協力ご支援下さいますようお願い申しあげます。

次に在校生の活躍の状況ですが、運動部は春の総合体育大会において、ウエイト・リフティングとボートの種目において優勝を重ねました。一方、母校の坊沢教頭によるとボートの種目において優勝を重ねました。お預かりいたしました後輩たちの教育に全力を尽くす所存でありますので、よろしくご協力ご支援下さいますようお願い申しあげます。

この春の5年度は、同窓会記念誌「津翠」を刊行することができました。その上、運動部後援会より多大なご援助を頂いたとき、部室とトレーニング室を完成。さらに新しいアーチの建設を残すだけとなりました。この件に関しては、只今、同窓生より多くのご協力をいたしております。

以前家庭科教室棟が建設された予定であり、これからは鰐陵会館の建設を残すだけとなりました。この件に関しては、只今、同窓生より多くのご協力をいたしております。

最後になりましたが東京鰐陵は、会員の益々の発展と同窓生の皆さんのご健康を心からお祈ります。

今はこれらの立派な施設にさわらせる生徒の学力向上、部

活動の一層の活性化等教育内容の充実が残された課題であると考えております。先輩の皆様が現在在学している後輩の生徒たちは本当に幸せであると思うと同時に、恵まれた環境にや甘んじているところもあるのではないかと、いささか自省、反省、戦中、戦後におけるそれ

ぞれ厳しい状況の下で、當々と数々の実績を振り返ってみると、現在在学している後輩の生徒たちは本当に幸せであると思ふ。来賓として遠路はるばる石巻より、母校教頭坊沢洋志教頭、佐藤信男同窓会長、浅野平二同窓会会長、松本仁同窓会事務局長をはじめ、母校70周年記念事業協賛会の山形又彌門生・31回生を幹事として、雅叙園觀光ホテルにおいて開催されました。来賓として遠路はるばる石巻より、母校教頭坊沢洋志

活動の一層の活性化等教育内容の充実が残された課題であると考えております。先輩の皆様が現在在学している後輩の生徒たちは本当に幸せであると思ふ。同時に、恵まれた環境にや

活動の一層の活性化等教育内容の充実が残された課題であると考えております。先輩の皆様が

活動の一層の活性化等教育内容の充実が残された課題であると考えております。先輩の皆様が

活動の一層の活性化等教育内容の充実が残された課題であると考えております。先輩の皆様が

活動の一層の活性化等教育内容の充実が残された課題であると考えております。先輩の皆様が

ことしは東京鰐陵会総会開催の年です

幹事学年 24回、28回、32回

会員 13300名に対する郵送料は22万7500円ほどかかります。郵送料の値上がりに伴い、さらなる経費増が見込まれます。会員各位におかれましては、住所の変更のある場合には、お忘れなくご連絡のほどをお願いいたします。

会報の編集には27回生の三宅さん君の誠実的な活動によって進捗されております。協力できの方がありましたら申し出てください。また、誌面の充実と継続性を図るために、会員各位の「感想」や「エッセイ」、短歌、俳句、川柳などの作品の投稿や仲間の情報などの提供を待っています。

会員各位の志懸のない意見などを聞かせていただければ幸甚に存じます。

なお、石巻地区各高等学校を出身者による、合同同窓会を開催しようではないかという話が、各校の東京地区支部の事務局から生じてきています。

第12回 桜会収支報告

平成5年10月22日

1 参加者 会員113名 来賓 7名	
2 収 入 1,506,000	
(1)会費収入 12,000×113名 1,356,000	
(2)祝儀収入 (別記明細) 150,000	
3 支 出 1,293,735	
(1)宴会費 1,188,338	
(2)宴会係チップ 20,000	
(3)カメラマン賄礼及びプリント代 31,782	
(4)来賓車代 (3,000×7名) 21,000	
(5)来賓紹介士庶代 (3,000×7名) 21,630	
(6)記念リボン代 3,831	
(7)ホームページ代 4,064	
(8)謝禮 (運送代) 3,090	
4 収入-支出 212,265	
5 記念品内訳	
銀婚同愛会 20,000 高橋 良氏 10,000	
幼少教頭 10,000 普野 寿氏 30,000	
鶴巣英光教員 10,000 生江精子氏 30,000	
佐藤耕蔵会長 10,000	
中塩喜次郎氏 10,000	
清野亨二氏 10,000	
山形又右衛門氏 10,000	

が、会員13300名に対する郵送料は22万7500円ほどかかります。郵便料の値上がりに伴い、さらなる経費増が見込まれます。会員各位におかれましては、住所の変更のある場合は、お忘れなくご連絡のほどをよろしくお願いいたします。

関東支部総会と、11月の石巻支
部総会と、東京講演会事務局より、十
葉高等学校校長浜田、平岡(30回)、阿部典
回)が参加して交流を深めても
いました。各校とも、若い世代の
参加が少なく、いかにして
魅力ある同窓会にしようかと苦
労している様子を目のあたりし
ました。その席上、今後、や

城水産高等学校や石巻市立女子高等学校の東京地区支部にも呼んで、事務局の交流から、全面的な交流へ合同同窓会へと発展させようではないかと意がはずみました。東京都議会としても、次回理事会の議題として提案し検討していくものと考えております。

東京網際全全具 各位

平成 5 年 10 月 22 日

東京飼陵会・会長 高橋 良
東京飼陵会・事務局長 吉田 慎雄

六 計 報 告 書

平成3年11月1日（第11回総会の前）から平成5年9月30日までの本会の会計状況は次のとおりであります。

科 目		収入金額	摘要
前 期 越 領		9,424円	平成3年11月1日との繰越額
一般収入	広 告 収 入	1,384,588	名簿及び会報掲載の広告料
	名 署 代 収 入	1,974,500	平成4年8月までの名簿代及び賛助金
	贊 助 金 収 入	189,000	平成5年4月以降の賛助金
	雜 収 入	17,408	預金利子
前回総会の収入合計		1,726,000	第11回総会の収入一切
今 判 総 会 の 収 入		10,000	第12回総会の収入(概算)
収 入 合 計		5,310,920	

(支出の部)			
科 目		支出金額	摘要
一般支出	会 議 費	210,396円	理事会費用
	事 務 局 費	20,600	事務局会議費用
	消 耗 品	79,524	封筒の印刷代、その他の消耗品代
	雑 費	159,102	郵便同窓会総会への報奨、慶賀費は本会報及び名簿の郵送料、一般郵送料
	通 信 郵 送 費	630,251	本会報及び名簿の郵送料、一般郵送料
	会報・名簿印刷費	2,829,120	本会報及び名簿の印刷代
	会報委員会費	17,300	会報委員会費用
前回総会の支出合計		1,149,090	第11回総会の経費一切
今回総会の支出		129,220	第12回総会の通知業者代、同様総代
支 出 合 计		5,224,602	

五

鰐陵同窓会本部事務局
だより



鯉陵同窓会本部事務局
だより
鯉陵同窓会事務局長 小野寺雅典（30回生）
東京鯉陵会の皆様、会報6号を
出版おめでとうございます。
るか鯉陵の地よりご挨拶申しあげます。
平成6年4月より、松
本仁前事務局長退職の後を引き継ぎました。
30回生で社会科を担当しております。
4年前に計画的
に解説本校ではまた堅実な
け出しですが、今後ともよろしく
お願い致します。
さて、母校並びに本部事務局
より近況を報告させていただきます。
平成6年4月、開校以来始めて
鯉陵出身の校長が誕生しました。
た。若松武徳校長（27回生・高
潤出身）です。文武両道をモット
トに意欲を生徒には強く抱
導にあたっております。
進学では例年通りの成績でし
たが、特に現役生の頑張りが目
立ちました。武の方ではボート部・
ケーツ部の第3位、硬式野球部の
夏の大会ベスト8位に入り、
定時制では陸上部、柔道部が全
国大会へ駒を進めました。
一昨年は70周年記念式典が盛
大に行なわれ（記念誌、御覧
会報36号で紹介しますので省
略）。又、鯉陵会館建設のため、
旧アーチがとり壊され、水泳部
OB会を中心にお別れ会が催され
ました。新アーチは校地内西面
館の一角に完成し、週日アーチ
開きが行なわれました。
本部同窓会は鯉陵会館建設の
大より

黄会員、佐藤信男同志会長をはじめ、本部役員、支部役員が丸となり、東奔西走、募金活動に精勤しており、各界・各地、各回生の方々からご援助をいただいておりますが、未だ目標額に達しておりません。東京競馬会の皆様にもぜひご協力のほどをお願い致します。

支部総会も昨年同様に活発に行なわれ、6月の関西・浦谷を皮切りに鳴瀬・河南・仙台と開催され、以後、市役所・河北支所・上合同、女川、矢本と続々と予定です。

本部総会は8月14日(日)40回生(岡崎耕造実行委員長)の主管で盛大に行なわれ、東京から美人アドバイス司会者を迎えて、新鮮さを出ししました。今年の総会は41回生の主管で開催されます。

会報37号(鈴木井男編集長)の発行に向けての作業も順調です。今回の特別寄稿は福島洋男氏の「石巻を訪れた文人墨客」です。どんな資料ができるか楽しみです。その他は例年と同様のスタイルとなるのはすです。

事務局では新名著作成の作業を始めています。本年秋に発行の予定で、現在、各回生の代表の方々から調査のご協力をいただいております。今年4月頃から個人宛に往復ハケキで確認等の連絡を致します。

最後になりましたが東京競馬会の皆様の一層の鼎異を祈念して筆を落とします。

菅野総合病院

附属 人工腎臓透析センター

參議院議員
学校法人 日本大学評議員
日本大学医学部同窓会副会長
社団法人 アフリカ協会 理事

菅野寿 (15回生)

〒351 埼玉県和光市本町28

☎(0484)64-5111(大代表)

石巻青年会議所の理事長となり、130人の会員をリードする傍ら、劇団結成に心血を注ぎました。

380年前の船大工の苦労を見事に表現した「夢回船物語」は、石巻で唯一の劇団である「劇団『芝居屋』」や音楽の末水聴行先生の二協力をいただき、石巻市民会館の満場の観客を涙と感動でいっぱいにしました。94年にはさらに磨きをかけ、宮城県民会館で公演を行い、大成功を収めました。

パークがオープンする2年後、復元船と一緒に、東京でのお披露目構想もあると聞きます

三浦 96年の東京フロンティアにサン・ファン・パウティスチ号が出展されますが、この際にソフト部門として「夢回船物語」の上演が出来るよう頼っております。文化不毛の地と言われる石巻ですが、市民の中にも文化に対する意識が高くなっています。

皆様のご理解とご協力をお願いします。また、せっかくですべて、東京フロンティア会場だけでなく、別会場での公演も出来れば、望外です。

〔石巻青年会議所理事長、洋美子のマメヤ専務〕

まわづくり21市民の会

子供たちに住み続けたいと言わせる
石巻を



社会資本の充実が大事
佐々木喜蔵(39回)

石井の「見合」のもので、それが、それに見合ひに乏しい
のではないでしょうか。

佐々木 かつて石巻は、母なる川北上川の河口に位置する東北最大の米の集積地として栄え、藩政時代には住吉町や元倉町等に多くの米蔵が立ち並び、隆盛を誇っていました。また世界有数の豊かな三陸漁港を抱え、漁業者、商業者は言うに及ばず、定職のない者でもホワキともいりたりさえあれば食うに困らない、と言われるほど経済的に豊かな地域だったそうです。さらにさかのほれば、沼津日駿などの遺跡から绳文時代の生活の痕跡が読み取れ、石巻地域は人々が住み、暮らしを営むには適した土地だったようですね。

ところが平成の現代、年々人口が減少し、県下第二の都市と云われながら、大崎地方、古川市の激しい追い上げに四苦八苦している状況です。

一應國はいろいろあると思いますが、特に挙げる所したら、佐々木 その原因としてさほど大きな要素が考えられます。一つには交通アクセスの問題があります。経済の大動脈が舟運から鉄道に変わった時、石巻は本線から外れ、大きく乗り遅れ

近高 三ま めに 何が が度と 道市 は市 すき ね港 矢さる

速道路の開通
「しは明るい兆し

一立て直しの答えが見えてきた。
した。一つには暮延交通網
年後仲間入りですが、
佐々木 今こそ歴史を見
過去・現在・未来を有機的
考える時、明日のために今
すべきか、おのづから答
見いだせるはずでしょ
その答えの一つは、交通ア
ス。地域との動脈をしつ
と確保しておかねばならぬ
思います。高規格道路の97
開通は明るい兆しです。そ
同時に、石巻城一市九町
本町の基地を利用する民間
の構想も浮上してきました
人の動きの「動脈」として
時代の流れを見つ
とき、経済活動の動脈の役
果たすものが航空機・船舶
らではないでしょうか。

てしましました。
次の車社会では、道路が重
な位置を占めるようになりま
した。この時も力不足で、いつ
か陸の孤島と称されるほど文
アクセスの貧困な地域となり
それにつれて経済活動も停滞
味に陥ってしまいました。
もちろん、基幹産業の一つ
った漁業が、世界的な漁獲規制
によって年々、水揚げの数量も
金額とともに減っていることも
きな要因でしょう。ただ、漁
節目で有効な手立てを打てるな
つたのは、かつての繁榮の遺
産として、時代の変化に対
応して悠揚な市民が育つてしま
てからではないでしょうか。

高速道路の開通
近しは明るい兆

鉄道、車両と多様化していく
要す。注目しなければならないのは、
航空機であり、技術革新が進
む船舶。先日開港した関西国際空港
は、国内線とのアクセスの良さから、
ますます世界各国から物資の流入が促進されるは
ず。日本のハブ空港として、文字通り24時間活動を期待されて
います。

そのことは別の見方をすれば、
地方で生産された付加価値の高い製品も容易に輸出しやす
くなることを意味します。例えば、石巻に最先端のハイテク工場を説
いて、その製品を世界各国に送り出しても難しくはないでしょ
う。仙台空港は、民間機との共用空港にでき
れば、さらに便利です。

す。石巻駅前に定住交流センター」と大型店「デパート「石巻ビル」が来年にも開店しそうです。また立町に、社会保険庁の「健康センター」が建設中。計画の中には、中瀬にマリンタワー、文化散策公園づくりもあるようですね。こうしたものが見えたとき、中心街は変身するでしょう。

佐々木 とる漁業が衰退、造船業もだめになりました。ギンザケの養殖について世界が競争相手で、魚価が低迷している昨今。しかし、カキは頑張っています。タラコの生産量は日本一です。輸入魚を原料とする加工業も健在。その辺に今後の水産業界の方向があるのではと感じています。やはり競争力の強い、いわば、製品の開発が必要なのです。このように生き残るために

はネットワークづくりの引き合になるでしょう。

一異が新しい総合計画で石巻を中心、高度技術産業と観光の拠点化を図る産業創造都市計画と性格付けした視点都市整備が打ち出しましたね。

佐々木 現在、石巻を核とする石巻広域圏が地方拠点都市に指定され、若者の定住を図り、活力ある都市圏を創造するため、さまざまな取り組みが展開されていますが、企業を中央から誘致するためにも、社会資本の整備が絶対必要です。公共交通機関の整備が急務です。公共交通機関の整備がなければ、人は集まらず、企業も進出に二の足を踏むのは当然でしょう。

本と雑誌

初宝堂

鉄道、車両と多様化していくま
す。注目しなければならないの
は航空機であり、技術革新が進
む船舶。先日開港した関西国際空
港は、国内線とのアクセスの良さから、ますます世界各國から
物資の流入が促進されるは
ず。日本のハブ空港として、文字通り24時間活動を期待されて
います。

そのことは別の見方をすれば、
地方で生産された付加価値高
い製品も容易に輸出しやす
くなることを意味します。例へば、石巻に最先端のハイテク工
場を説教し、その製品を世界各
地に送り出すことも難しくない
ではないでしょうか。仙台高架橋
道路を通り仙台空港から世界各
く、矢本の航空自衛隊松島基地
を民間機との共用空港にでき
ています。国の予算配分によ
りますが2年後ぐらいに第一船
舶港が開港されます。いろいろ
な活用の方策が考えられます
が。

佐々木一間もなく実用化され
そうなテクノスリーバーライナー
(TSL)という船は、1,000
トンのコンテナを積んで時速
80-100キロで走る高速船。
昨今の道路事情の悪化、陸上運
賃の高騰などを考慮すると、物資
ではトラックとの競争に十分対
抗できると言われています。仙
台港はTSL用のコンテナヤードを設ける計画があるそうで
す。石巻港にも是非欲しいもの
です。雜貨、加工食品等の工業
地区再生計画が進められていま
す。商店街もそれにつ
れ活気が戻るのは今、「ふれ
あいプラザ」というを中心商業
施設に役立つはずです。

基幹産業の水産業再興も必
要でしょう。商店街もそれにつ
れ活気が戻るのは今、「ふれ
あいプラザ」というを中心商業
地区再生計画が進められていま
す。

す。石巻駅前に定住交流センターと大型店「デパート・石巻ビル」が来年にも開店しそうです。また立町に、社会保険庁の「健康センター」が建設中。計画の中には、中瀬にマリンタワー、文化散策公園づくりもあるようですね。こうしたものが見えたとき、中心街は変身するでしょう。

佐々木 との漁業が衰退、造船業もだめになりました。ギンザケの養殖にして世界が競争相手で、魚価が低迷している昨今。しかし、カキは頑張っています。タラの生産量は日本第一です。輸入を原料とする加工業も他在、その辺に今後の水産業界の方向があるのは思っています。やはり競争力のない魚種、製品の開発が必要なのです。このように経済基盤をできるだけ早く整備改善し、活性化することができれば、商業も活性化するでしょう。

活発化するでしょう。

課題残してきた分
やり甲斐ある

はネットワークづくりの引き合になるでしょう。

一興が新しい総合計画で石巻を中心、高度技術産業と観光の拠点化を図る産業創造都市に活力ある都市圈を創造するため、さまざまな取り組みが展開されていますが、企業を中央から誘致するためにも、社会資本の整備が絶対です。公共交通・保健医療施設の充実・文化・スポーツ施設の充実、高等教育機関の更なる設置等々、このような快適な環境、施設がなければ、人は集まらず、企業も進出に二の足を踏むのは当然でしょう。

一その通りです。幸い、豊かなら始まっている下水道づくりが北上川西岸の中心市街地へ拡大しています。市立病院建設が南浜町に決まりました。大規模な総合運動公園も南境に建設されることになり、21世紀の平成13年には開催される宮城国体ラグビー競技を受け入れます。都市機能も能づくりがようやく、本格化してきましたね。21世紀入りまでに石巻は、かなり変貌しそうです。

佐々木 今まで講題を残しておきた分、これからは、やはり非難するより「ホウキとチリトリ」の言い伝えがあつた以上、新しい素敵な話を語り継げるようにならないと願っています。ここに住み暮らす人々が、安全で安心のできる街、心にゆとりをもてる街、そのことを評議會に向かって誇れる街、そんな石巻をめざします。

安全で安心のできるものだと思いま

す。(市議) バレス食喫室常

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

本社／〒105 東京都港区芝浦1-2-3
(シーバンスS館) TEL.(03)5441-1111

株式会社
初宝堂
本と雑誌

代表取締役
菅野七三郎 (21期)

